

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No370

鳥取大学附属小学校令和7年研究発表大会(2025年10月30日開催)

千々布敏弥先生の講演、溝上との対談録 一言葉で説明できない授業は指導案に表れるー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

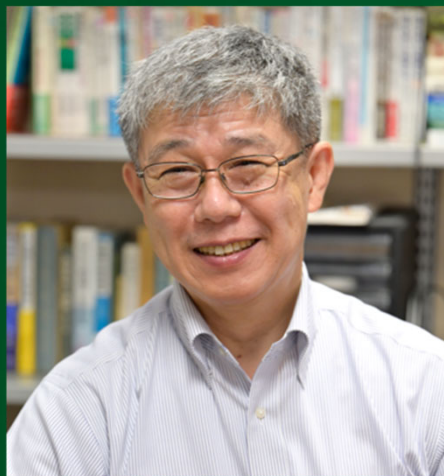
【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。
*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(ご紹介)



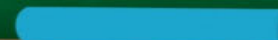
千々布敏弥

ちちぶ としや

国立教育政策研究所 研究企画開発部 特任研究官

九州大学大学院博士課程中退、文部省入省。その後、私立大学教員を経て、1998年から国立教育研究所（現・国立教育政策研究所）の研究官、総括研究官となり、2025年4月より特任研究官となる。

主な主著『先生たちのフロネーシス』教育開発研究所 2025年、『先生たちのリフレクション』教育開発研究所 2021年





No334

(新著の紹介)



先生たちのフロネーシス

前著『先生たちのリフレクション』をどのように乗り越えたか

千々布敏弥先生

(国立教育政策研究所 研究企画開発部 特任研究官)



動画チャンネル「溝上慎一の教育論」

鳥取大学附属小学校令和7年研究発表大会 全体講演会 対談 2025年10月30日

インサイドアウト思考（初発の思考や行動、自己決定・自己調整）、アウトサイドイン思考（学習目標への全員到達）を育てるマインプラン学習法

全体講演会(対談) 講師



学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

溝上 慎一 先生



国立教育政策研究所
研究企画開発部教育研究情報推進室特任研究官

千々布 敏弥 先生

対談テーマ

「インサイドアウト思考（初発の思考や行動、自己決定・自己調整）、
アウトサイドイン思考（学習目標への全員到達）を育てるマインプラン学習法」

それではご覧ください

鳥取大学附属小学校令和7年研究発表大会 全体講演会 対談 2025年10月30日

インサイドアウト思考（初発の思考や行動、自己決定・自己調整）、アウトサイドイン思考（学習目標への全員到達）を育てるマインプラン学習法

全体講演会(対談) 講師



学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

溝上 慎一 先生



国立教育政策研究所
研究企画開発部教育研究情報推進室特任研究官

千々布 敏弥 先生



資料がほしい方は
ダウンロードしてください

対談テーマ

「インサイドアウト思考（初発の思考や行動、自己決定・自己調整）、
アウトサイドイン思考（学習目標への全員到達）を育てるマインプラン学習法」

「自律して学び続ける子供の育成」

鳥附小の校内研修

昨年度、私たちは「単元内自由進度学習」を教育課程に導入し、実践を積み重ねてきました。本年度は、その経験をもとに、見えてきた課題を深く掘り下げ、より充実した「個別最適な学び」を追求していきます。そこで今回は、教育界をリードする 溝上慎一先生・石井英真先生・千々布敏弥先生をお招きし、今後の教育の方向性や、私たち教師に求められる役割についてご指導いただきます。単なる自由進度学習の導入にとどまらず、これからの教育のあり方をともに考える貴重な機会となります。教育の未来を見据え、ともに学びませんか？ 皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

参加料
無料

定員

70名

(先着順)

- 公開授業 13:25～14:10
○ 5年生・社会科（単元内自由進度）
- 指導助言 14:30～15:10
石井英真先生
- 対談 15:20～16:30
テーマ「これからの学びの創造」
- お知らせ・閉会

公開授業 2校時 9:25～10:10 3校時 10:25～11:10

2校時 2-2 豊内学園 国語 対談的な学び
3校時 4-2 豊内学園 算数 探究型学習
※ 2、3校時の学習も公開しています。ご都合に合わせてご参観ください。

対象 | 鳥取県内外教育関係者

会場 | 鳥取大学附属小学校

担当 | 研究主任 大杉晃範
TEL 0857-31-5171



・学校法人桐蔭学園 理事長
・桐蔭横浜大学 教授
・東京大学大学院客員教授

溝上 慎一 先生



・京都大学 准教授
・石井英真 先生



・国立教育政策研究所
・千々布敏弥 先生

6/30月
13:25 - 16:30

申込方法 | 二次元コードを読み込みフォームを入力

申込期限 | 6月20日(金)

その他 | 当日は10分前までに会場へお越しください。

上靴をご準備ください。

駐車場は小学校正門前の掲示に従って移動をお願いします。

こちらから



お申し込みは



鳥取大学附属小学校
令和7年 研究発表大会

鳥附小の研究 発表大会へGo!

研究主題

「自律して学び続ける子供の育成」

～学びの本質にせまるマイプラン学習のあり方～

開催日：2025年10月30日（木）

8:25	8:40	9:00	9:15	10:00	10:15	11:00	11:15	12:15	13:20	14:40
受付	全体会	移動	授業①	移動	授業②	休憩	教科・領域別 分科会	昼食	講演会	閉会

全体講演会(対談) 講師



学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

溝上 慎一 先生



国立教育政策研究所
研究企画開発部教育研究情報推進室特任研究官

千々布 敏弥 先生

対談テーマ

「インサイドアウト思考（初発の思考や行動、自己決定・自己調整）、
アウトサイドイン思考（学習目標への全員到達）を育てるマインプラン学習法」



研究目的

小学校段階からのウェルビーイング実現

なりたい
自分になる！

マイプラン学習で
統合的に鍛える



創造的
思考力

対話力

メタ
認知

(マイプラン学習)
教科・領域等



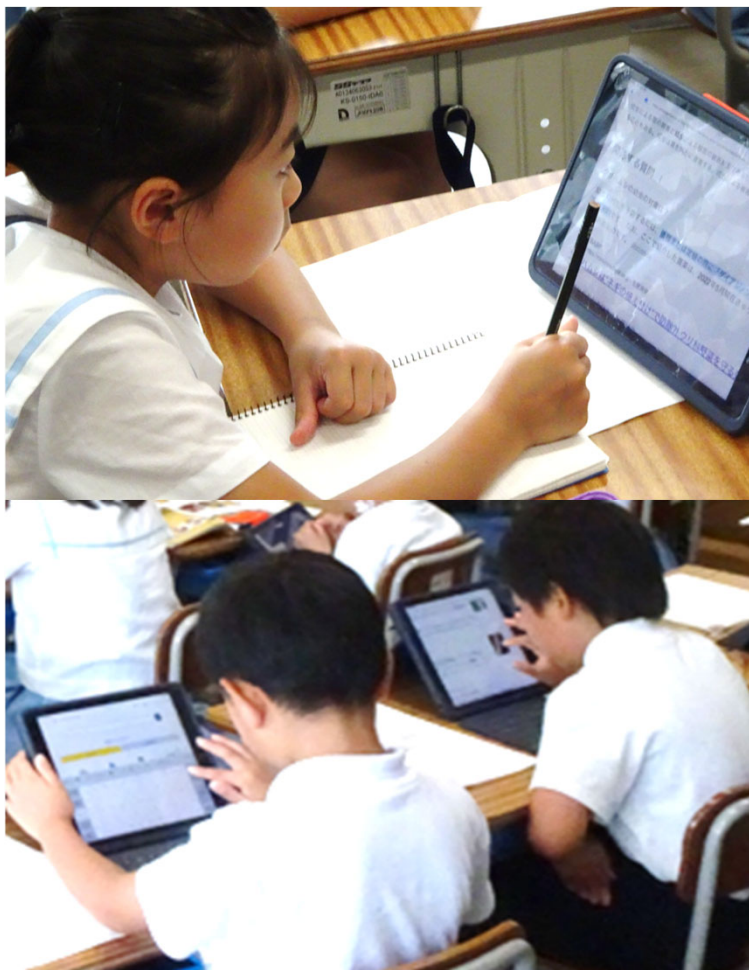
(一斉授業)



図 小学校段階からのウェルビーイング実現のイメージ

研究主任 大杉晃範先生「研究概要」スライドより

鳥取大学附属小学校の マイプラン学習法（単元内自由進度学習）



鳥取大学附属小学校

ペアワーク



鳥取大学附属小学校

文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室（編）

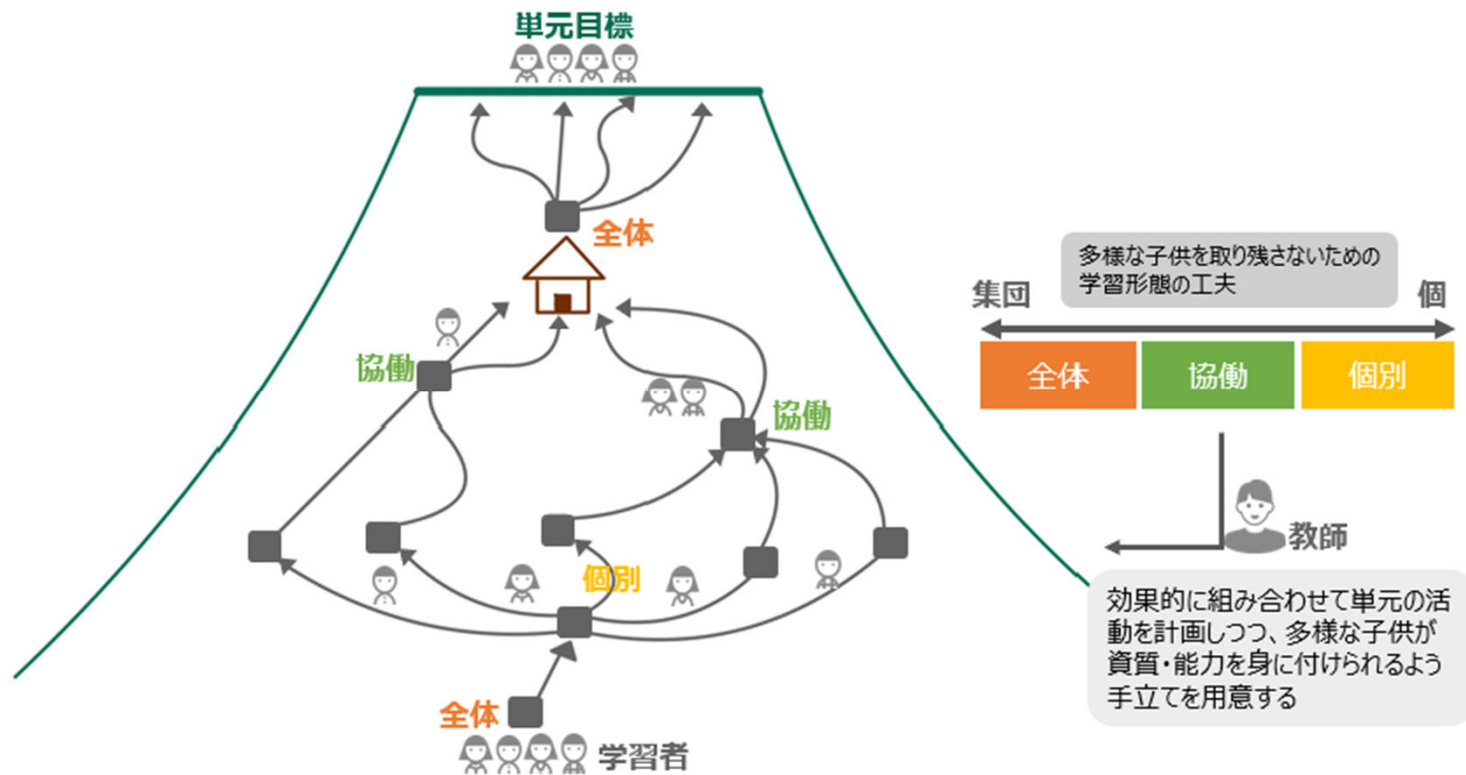
『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン『みるみる』』（令和7年4月）



Point5

基礎編③

学習は「（集団）全体－協働－個別（個）」のバランスの中で行われる



No333

文科省サポートマガジン『みるみる』が刊行！
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」
は全体－協働－個別のバランスの中で実現

そのように言ってくれれば
実践は進みます！

溝上の解説：5つのポイント

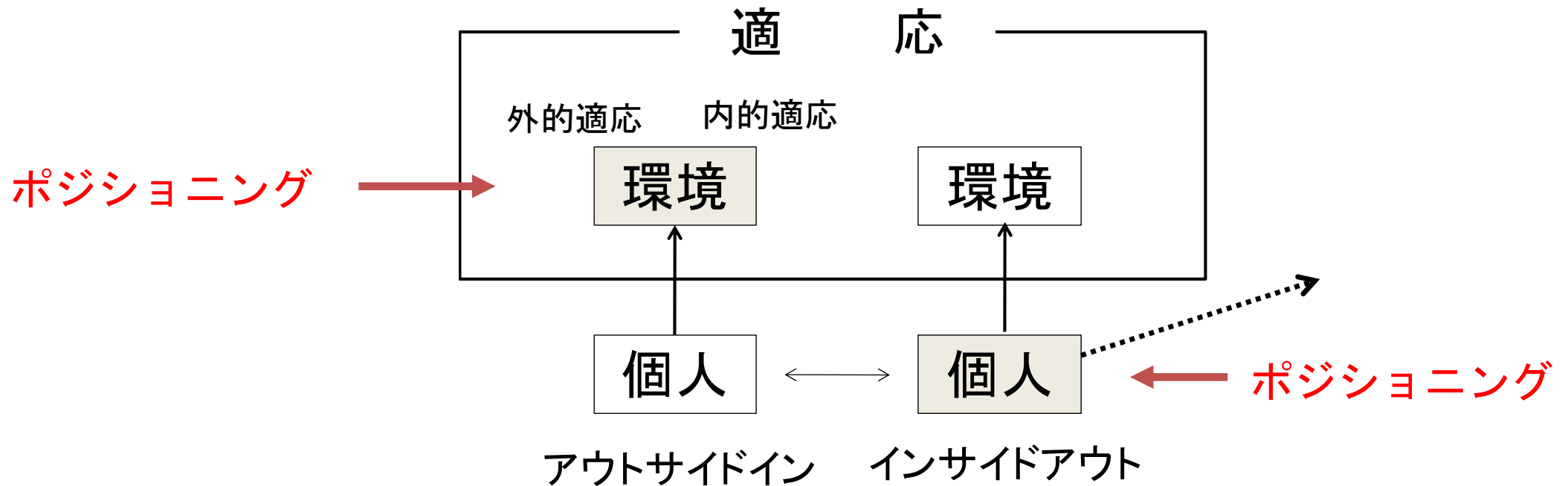
動画チャンネル「溝上慎一の教育論」



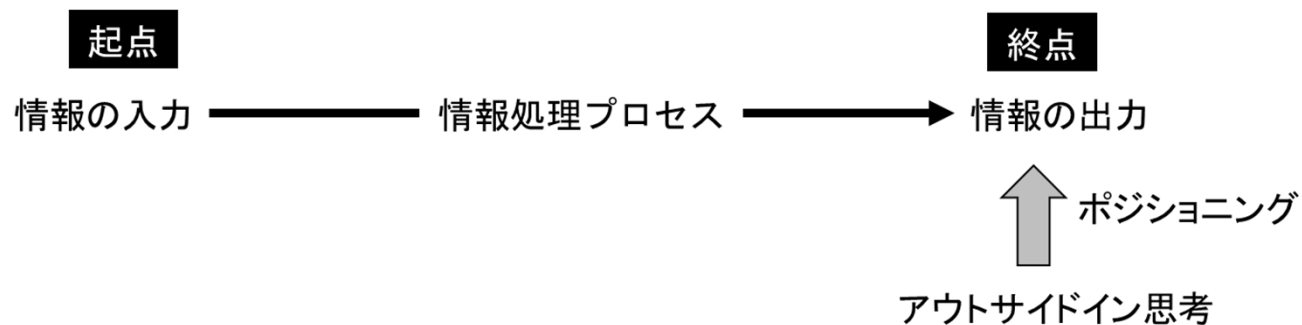
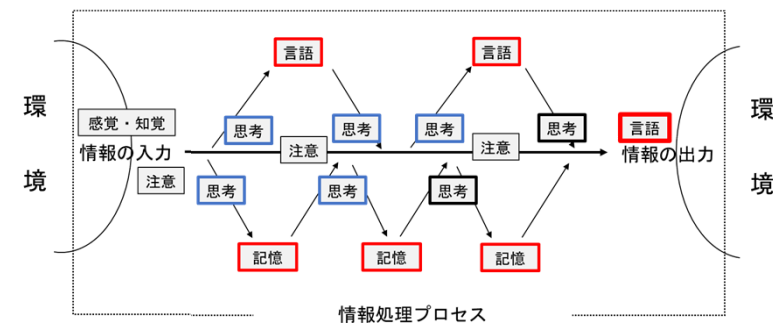
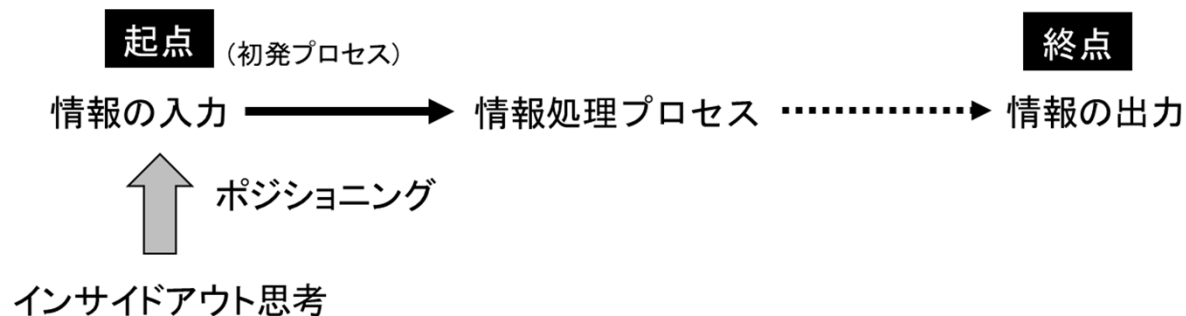
適応（アウトサイドイン）と個性化（インサイドアウト）の力学

Outside-in

Inside-out



アウトサイドイン思考とインサイドアウト思考



これまでの代表的な思考論をアウトサイドイン思考として位置づける

- 推論（演繹・帰納・仮説推論）
- 問題解決 • 意思決定 • アナロジー
- 論理的思考 • 批判的思考

学びに向かう力、人間性（主体性・対話等を構造的に改善）

【現行の整理】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

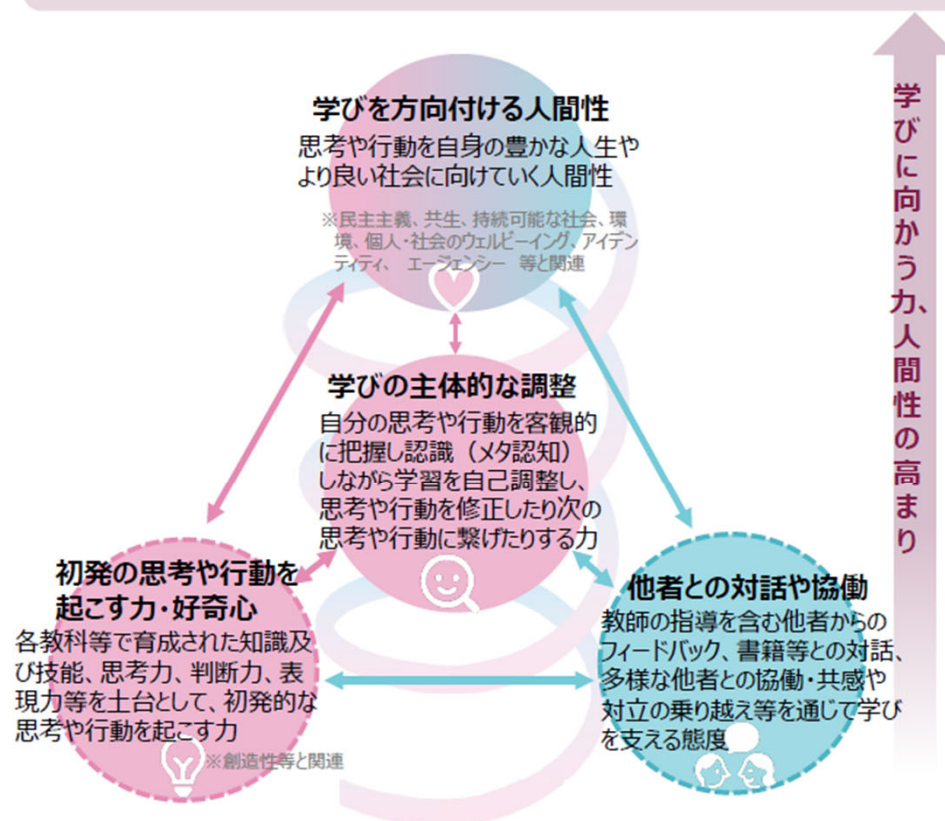
（中略）

児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

【今後の整理イメージ（素案）】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む



対談 & 溝上も授業コメント

溝上の今日の一押しの授業（国語・書写）4年



- ・前に出てきて発表
- ・タブレットを使ってミラーリング
- ・ロングな説明だが、聞き手はしっかり傾聴

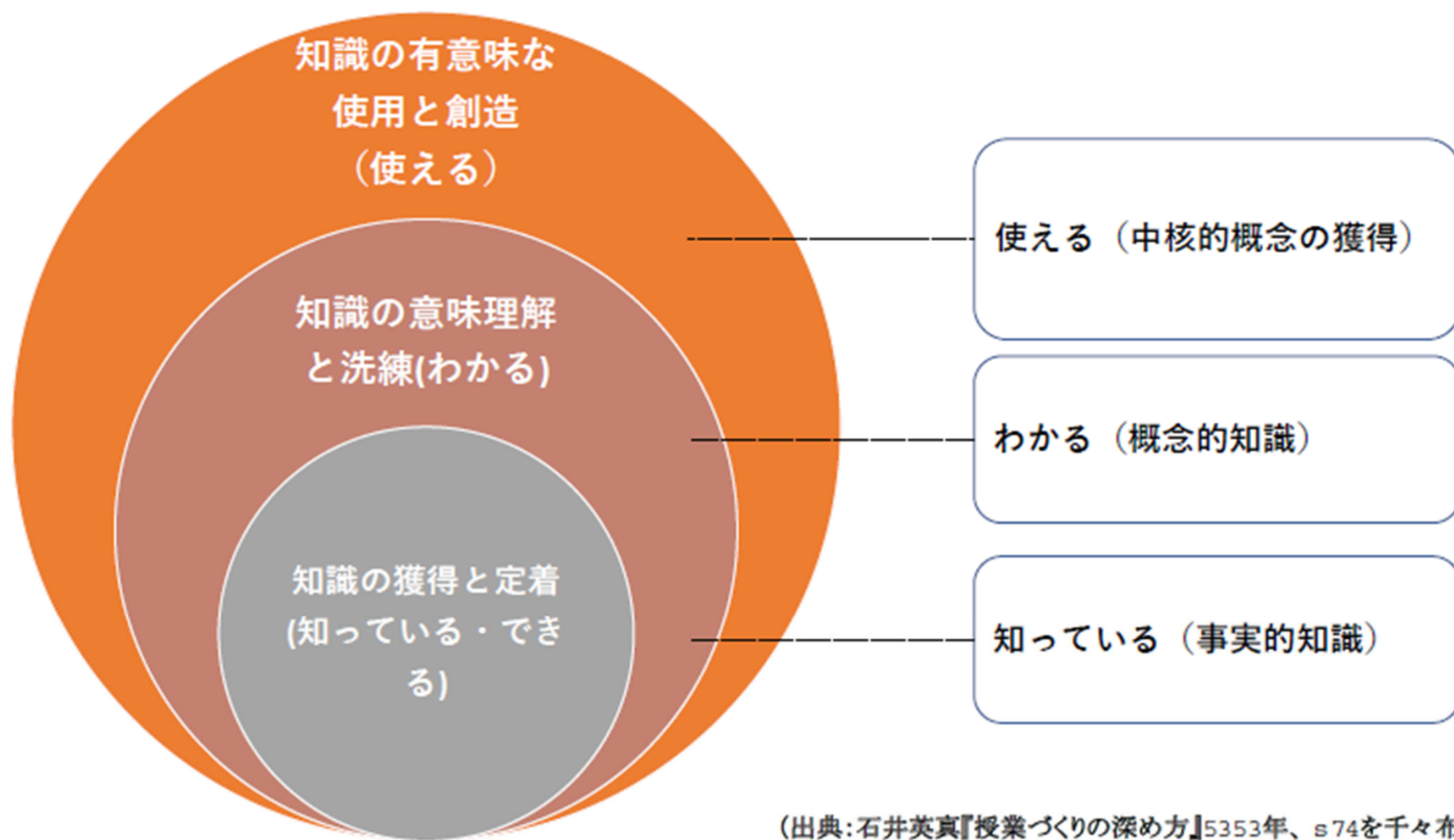
言葉で説明できない授業は指導案に表れる

アクティブラーニング
シュワブ
アイスナー
エージェンシー
佐藤学

インサイドアウト思考



アウトサイドイン思考としての石井英真の学力観



(出典:石井英真『授業づくりの深め方』5353年、s74を千々布改変)

「タテ・ヨコの関係」の可視化による「深い学び」の具現化

補足イメージ2-①

- 知識の理解も、それが生きて働くように深く学ぶことが重要（タテの関係①）。思考力・判断力・表現力等も、社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要（タテの関係②）
 - ある程度の知識・技能なしに思考・判断・表現することは難しいし、思考・判断・表現を伴う学習活動なしに、知識の深い理解と技能の確かな定着は難しい（ヨコの関係）
- こうした「タテ・ヨコの関係」を学習指導要領上で可視化することにより、資質・能力の関係性の理解や、それらを一体的に育成するための教師の単元づくりを助け、「深い学び」を授業で具現化しやすくする

＜生きて働く＞

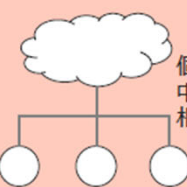
知識及び技能

他の学習や生活の場面でも活用できる

中核的な概念の深い理解

（例）関数を使えば未知の状況を予測できる

「タテ」
の関係①



個別の知識や技能が
中核的な概念と結びついて
相互に関連付けられる

「ヨコ」
の関係



＜未知の状況にも対応できる＞

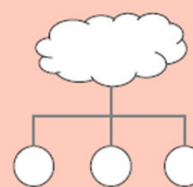
思考力、判断力、表現力等

知識・技能を活用しながら、未知の場面でも課題を解決できる

複雑な課題の解決

（例）現実の事象を数式でモデル化し、未知の状況を予測して、具体的な解決策を選択する

「タテ」
の関係②



複雑な課題の解決に向け
て、個別の思考力・判断
力・表現力等を総合的に
働かせる

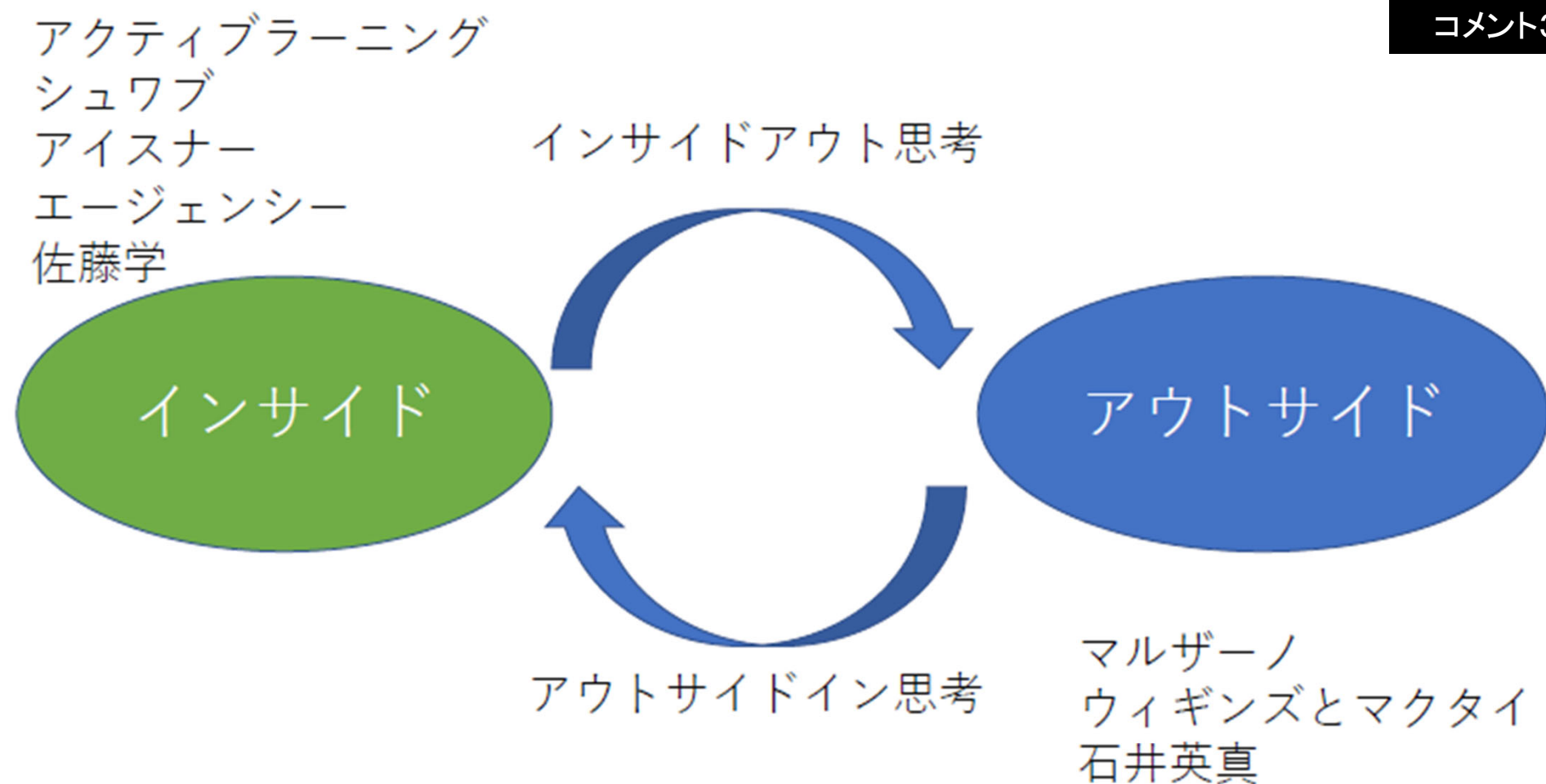
個別の思考力、判断力、表現力等

（例）
・二つの数量の変化・対応関係を見だし、式やグラフを用いて考察する
・現実の事象にある二つの数量の関係を関数と仮定して処理したりその結果に基づいて判断する

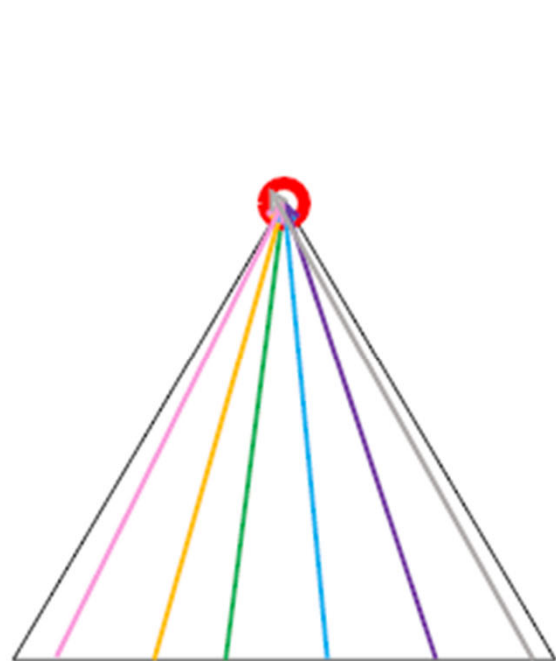
個別の知識や技能

（例）
・比例・反比例の理解
・一次方程式の解き方
・二元一次方程式を関数としてみなせることの理解
・現実の事象を関数でモデル化できることの理解
・二次関数でモデル化できる事象があることの理解

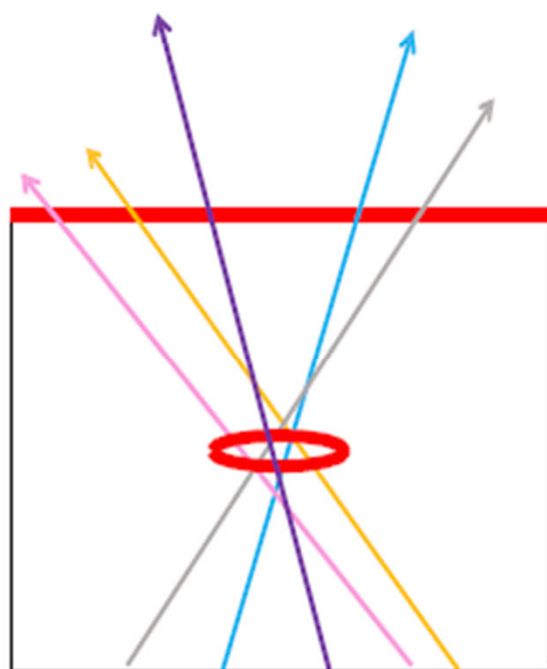




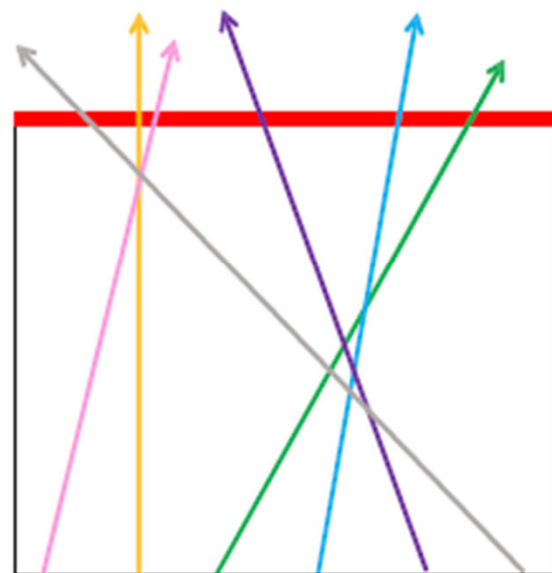
アウトサイドを点として捉えるか、線として捉えるか



学び方の個別最適

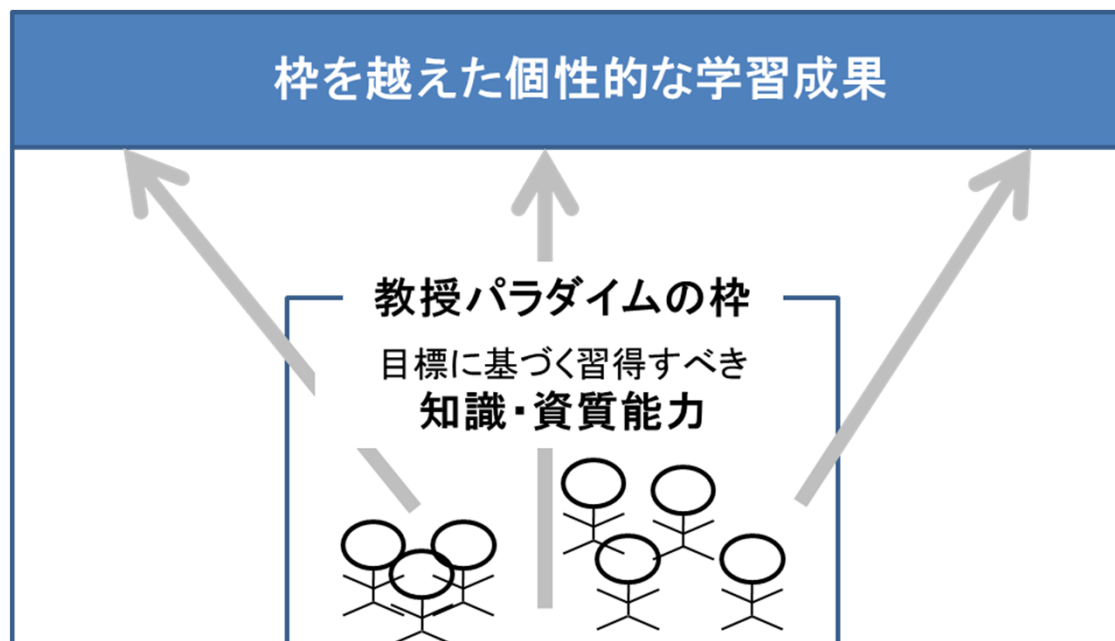


学ぶ目標の個別最適



教授パラダイムから学習パラダイムへの転換

学習パラダイム



政府の施策との関連

- 学士課程答申（2008年）、平成28年答申（学習指導要領改訂）（2016年）
「何を教えるか」よりも
「何ができるようになるか」
- [高等教育] グラウンドデザイン答申（2018年）
「何を教えたか」から
「何を学び、身に付けることができるのか」への転換

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実？

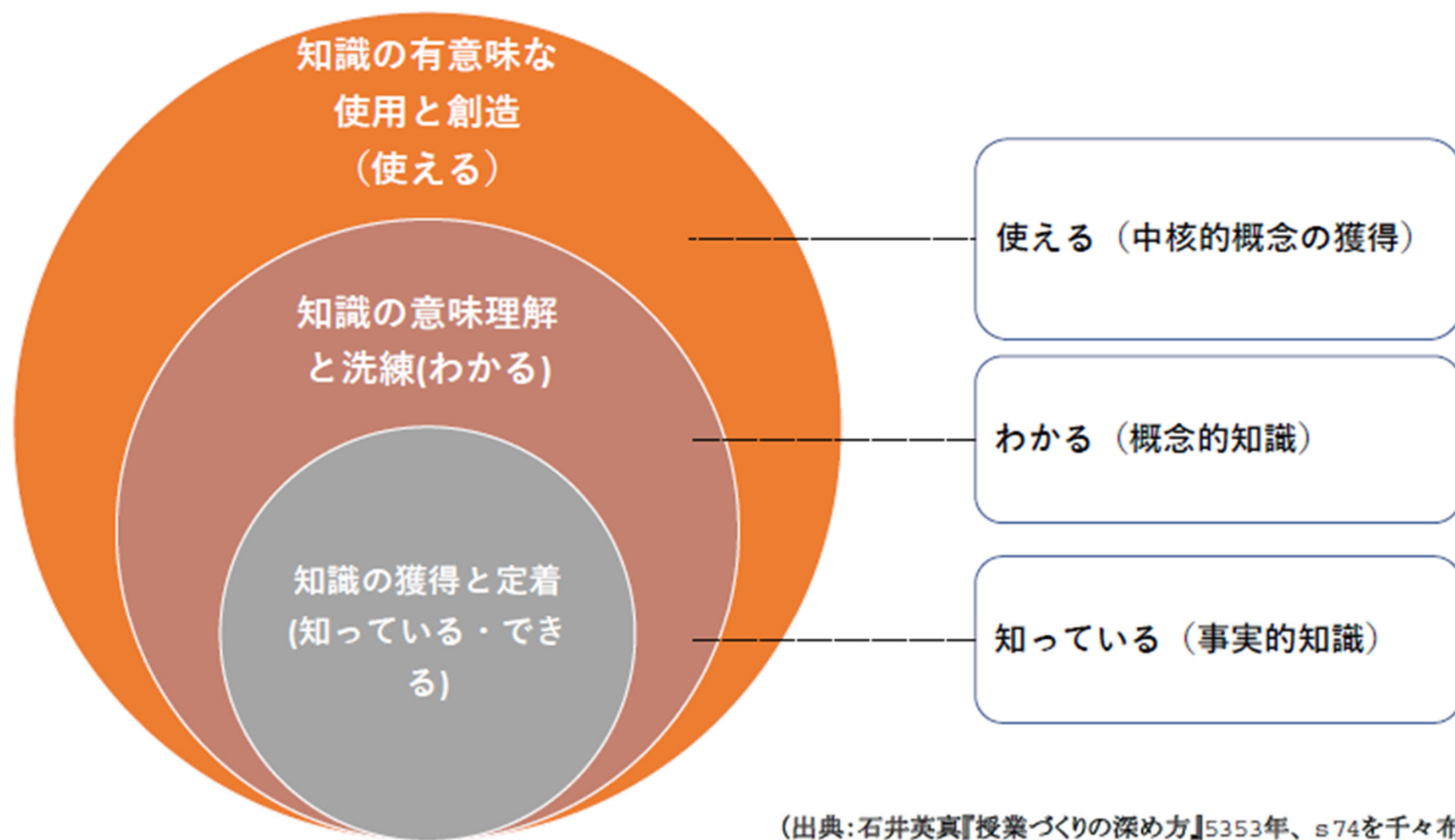


- ・個別最適な学びとしてのマイプラン学習法はうまく実施されている
- ・子どもが一人ひとりが最後どのような目標到達をするかをうまくイメージして個別作業を多用にしている。
- ・しかし、一般的な協働的な学びはほぼ消滅している。しかし、これでいいのでは？

鳥取大学附属小学校の マイプラン学習法（単元内自由進度学習）



鳥取大学附属小学校（2024年度）



(出典:石井英真『授業づくりの深め方』5353年、s74を千々布改変)